

今後もAIを活用した資産配分効果に注目

ROBOPROファンド 追加型投信/内外/資産複合

- ▶ 平素は「ROBOPROファンド」(以下当ファンド)に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、株式会社FOLIO(以下FOLIO)から投資対象資産の配分比率に関する助言を受けています。
- ▶ 本レポートでは、3月下旬以降、株式市場が調整色を強めた局面における当ファンドの資産配分による効果についてご説明させていただきます。

株式市場の調整局面で堅調に推移したROBOPROファンド

投資配分にAI予測を活用するROBOPROファンド

「ROBOPROファンド」は、金融庁が発表した過去3年間のロボアドバイザーパフォーマンスNo1*1の運用実績を有するROBOPROをエンジンとして活用する投資信託です。AIの予測に基づき機動的に資産配分を変更しながら、8資産*2のETFを通じて世界の株式、債券、不動産および金に分散投資します。

機械学習により進化し続けるAIが相場を予測し自動でリスクを考慮しながら運用するロボアドバイザー運用ですので、資産運用に手間を掛けたくない方にもぴったりの投資信託です。

3月下旬以降、調整局面を迎えた内外株式市場

堅調な推移が続いていた内外の株式市場は、3月下旬以降、上値が重い展開となり調整局面を迎えました。

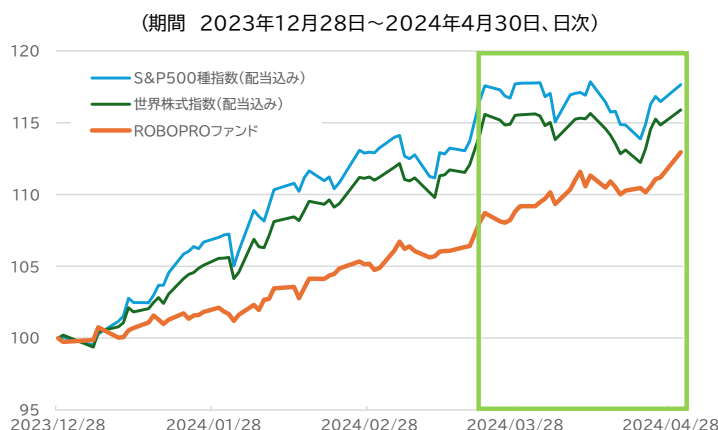
米国における根強いインフレへの懸念を背景に、米連邦準備制度理事会(FRB)に対する市場参加者の早期利下げ期待が後退したことや、中東における地政学的リスクの高まりなどを受けて、値上がりの大きかったテクノロジー関連株などへの売り圧力が強まり、主要株価指数は4月下旬にかけて大きく値下がりするなど荒っぽい値動きを見せています(図表1)。

代表的な株価指数に対し調整局面で相対的に堅調に推移したROBOPROファンド

このように代表的な株価指数である世界株式指数や、S&P500種指数の上昇が一服し調整色を強め始め、先行きに対する不透明感が強まった相場環境下において、AI予測を活用したロボアドバイザー運用ファンドである「ROBOPROファンド」のパフォーマンスは、堅調な推移を見せています。

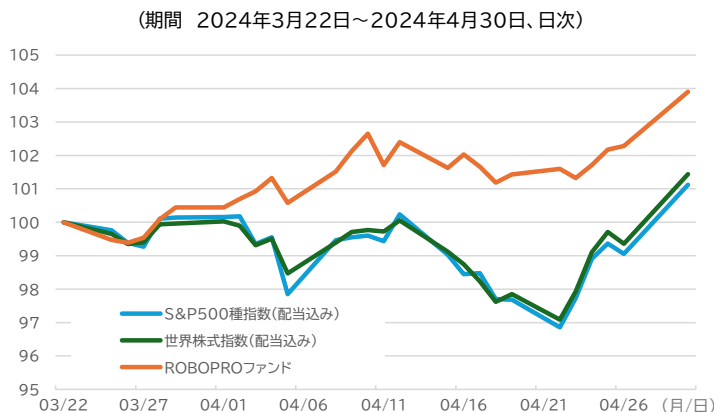
3月下旬を起点として直近4月末までの両株価指数と「ROBOPROファンド」のパフォーマンスを比較すると、相対的に「ROBOPROファンド」は両株価指数を上回って推移しています(図表2)。

図表1 設定来のROBOPROファンドと主要株価指数



※ ROBOPROファンドの設定日(2023/12/28)を100として指数化
 ※ 世界株式指数:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み)
 ※ 世界株式指数(配当込み)、S&P500種指数(配当込み)は円換算ベース

図表2 調整局面のROBOPROファンドと主要株価指数



※ 2024/3/22を100として指数化
 ※ 世界株式指数:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み)
 ※ 世界株式指数(配当込み)、S&P500種指数(配当込み)は円換算ベース

(図表1～2の出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

金への投資配分を高位にしたことが調整局面でプラスに寄与

金に対する投資配分が高位で推移

「ROBOPROファンド」の設定来の資産配分の推移を見ると、設定当初から金に対して比較的高位に資産配分されており、直近4月末時点では、28.6%と3割近くまで金に資産配分していました(図表3)。

金の上昇が調整局面でプラスに寄与

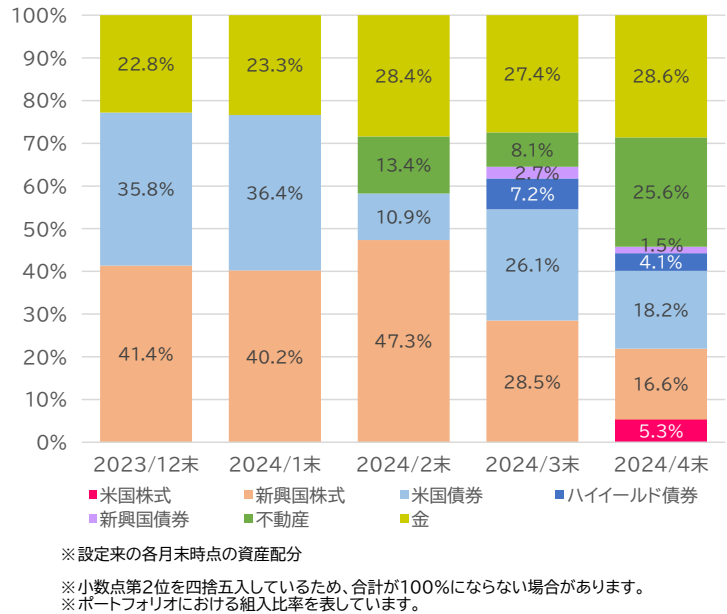
3月下旬、世界株式指数や、S&P500種指数の上昇が一服し調整色を強め始めた時点以降の金と両株価指数の4月末までの推移を見ると、金は両株価指数を大きく上回るリターンとなりました(図表4)。

金がこのように主要株価指数を上回るリターンとなったことが、金を高位に組入れていた「ROBOPROファンド」が主要株価指数と比べて相対的に底堅く推移した要因のひとつとなりました。

機械学習で進化するAIによる相場予測

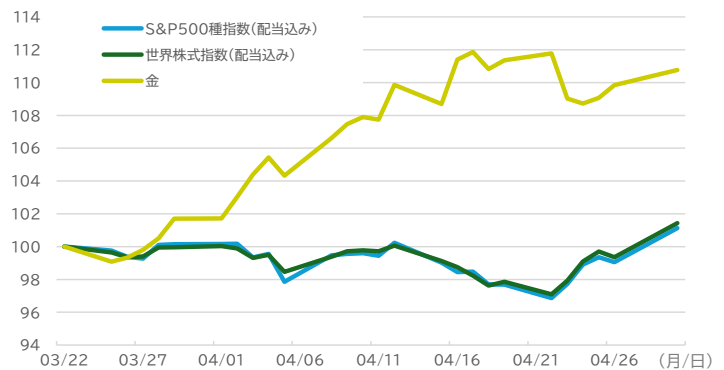
当ファンドの資産配分は原則として、月1回の頻度でAI予測に基づき見直しを行います。機械学習により進化し続けるAI予測により、どのように資産配分が変化して行くか、今後の推移に注目して頂きたいと考えています。

図表3 AI予測の強みを発揮した資産配分の推移



図表4 調整局面における金と主要株価指数

(期間 2024年3月22日～2024年4月30日、日次)



※2024/3/22を100として指数化
 ※金:SPDR Gold MiniShares Trust
 ※世界株式指数:MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み)
 ※世界株式指数(配当込み)、S&P500種指数(配当込み)、SPDR Gold MiniShares Trustは円換算ベース

(図表4の出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

*1:金融庁公表資料「国内運用会社の運用パフォーマンスを示す代表的な指標(KPI)の測定と国内公募投信についての諸論点に関する分析」別添「2022年末(4)ファンドラップ関連」(2023年4月21日)の「ロボアドバイザーのコース別パフォーマンス(過去3年と5年)」において、主な投資一任型ロボアドバイザー5社のうち、ROBOPROが過去3年の累積リターンで第1位

・当ファンドの実績ではありません。当ファンドとROBOPROの手数料率は異なります。
 ・主な投資一任型ロボアドバイザー5社の各コース(コスト控除後・円建ての月次データを基に計測)を対象
 ・ROBOPROは2020年1月15日のサービス開始から2022年末までの約3年間で計算

*2:米国株式:バンガード・トータル・ストック・マーケットETF、先進国株式:バンガードFTSEディベロップド・マーケットETF(米国は含まれません)、新興国株式:バンガードFTSEエマージング・マーケットETF、米国債券:バンガード・トータル債券市場ETF、ハイイールド債券:iシェアーズiBoxxハイイールド社債ETF、新興国債券:iシェアーズJPモルガン・ミドル建てエマージング・マーケット債券ETF、不動産:iシェアーズ米国不動産ETF、金:SPDR Gold MiniShares Trust

<本資料で使用しているインデックス>

MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
(登録金融機関)					
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)

留意事項

ROBO PRO

SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

投資リスク

■投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式、国内外の債券、国内外の不動産投資信託証券、コモディティ等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、分配金(配当金)減少リスク)」、「コモディティのリスク」があります。その他の変動要因としては、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カウンターリスク」、「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

その他の留意点

■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。

■取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

お客様にご負担いただく費用

<お客様が直接的に負担する費用>

■購入時

購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

■換金時

換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■保有期間中

運用管理費用(信託報酬)：純資産総額×年率1.562%(税抜1.42%)

■その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)

■有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。投資するETF等には別途費用がかかります。これらの投資に伴う費用は投資するETF等、保有期間、配分比率等に応じて異なりますので、事前に合計金額や上限額を示すことができません。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。